

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【3年生】

【 全国学力・学習状況調査結果の概要 】

○本校3年生の全体的な学習・生活状況

生活

・毎日の生活の基礎となる「学校に行くのは楽しいと思いますか」「友達関係に満足していますか」という設問に対して、全国平均を上回り、毎日楽しく生活したり、友人とも良好な人間関係を築けていたり、意欲的に学校生活を送れている姿が見られました。また、「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」という設問に対しても、肯定的な回答をしている生徒が多く見られ、個々の意見や存在が尊重される安心できる学級づくりができており、良い人間関係を築きながら、それぞれの意見の違いを受け入れて生活する生徒が多くいます。

・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という設問に対して全国平均を大きく上回り、地域とのつながりを強く感じています。

国語

全体の正答率は全国（県）平均とほぼ同じでした。自分の意見を書く問題については、特に正答率が高く、主体的に取り組んでいる姿勢がうかがえます。「思考力・判断力・表現力」の観点では、目標値・全国平均を大きく上回っています。中でも、『文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる』、『自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる』の項目について、よく考えて解答できており、これまでの積み上げができていくことを感じます。

数学

全体の正答率は、全国平均とほぼ同等でした。無回答率が全国平均より低く、諦めずに課題に向き合う姿勢が見られました。正答率は全国平均とほぼ同等ではあるものの、基礎的内容、思考力を問う問題共に、引き続き反復練習による実力の向上を期待します。

英語

全体の正答率は全国平均からやや下回るもののほぼ同等でした。基本的な内容を読み取る、聞き取る問題での正答率が高く、情報の受け取る力についてはついてきているように感じます。一方で、応用に関する問題、表現に関する問題は、正答率が低い傾向が見られました。

○本校3年生の課題と今後の取り組み

生活

「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」「新聞を読んでいますか」「読書は好きですか」という設問には、課題が見られました。「朝の読書」の活動は、語彙を増やしたり、想像力を高めたりするのにたいへん有効であるので、これからも継続し、各教科で図書室の利用をさらに推進し、読解力を向上させたいと考えています。

国語

特に課題が見られた『文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる』については、根拠を示して思考することを念頭におきながら、文章を読み取る力を高めていけるように、様々な場面において、「読むこと」の学習活動を工夫していきます。

数学

領域別正答率では、「数と式」や「図形」分野において課題が見られました。観点別正答率では、「思考・判断・表現」において課題が見られました。今後は、繰り返し練習することで基礎の定着を図り、数学的思考を要する問を投げかけ、互いの考えを共有する場面を多く設定していきます。

英語

自分の考えを英文で表したり、他の表現を使って言い換えたりする問題に課題が見られました。授業で学習する基本的な英語表現を基にしながらも、基本にとらわれすぎずに英語表現を使ったり、自分の思いを自由に英語表現したりできるよう、ALTとも連携しながら、繰り返し練習する機会を増やしていきます。

○保護者・校区のみなさまへ

地域とのつながりに肯定的な回答をしている生徒が多く見られました。生徒たちが積極的に地域の行事に参加し、地域の方と触れ合うことで地域とのつながりを深め、地域に見守られ、支えられていることを実感しているからだと考えられます。また、ボランティア活動に参加する生徒も昨年度より多くなっています。

学習において、「将来の夢や目標を持っていますか」という設問に対して肯定的な回答をしている生徒も多いことから、自分の将来の夢や目標の実現に向けて多くの生徒が意欲的に学習に取り組もうとする姿勢が、少しずつ養われています。

授業において、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組み、考えを発表する機会では、工夫して発表する」ことに課題が見られました。「主体的・対話的」な活動を取り入れた授業や、既習事項を活用して課題を解決する授業を進め、課題解決力の育成・根拠に基づいて自分の考えを伝える力の育成に努めたいと考えています。

本校の課題として、ネット、SNS、ゲームなどに費やす時間もたいへん長い実態があります。最近の社会的課題となっている情報機器の使い方や時間などにつきましても、学校でも、継続的に指導を進めていきます。ご家庭でも、ルールづくりやルールの再確認の指導をよろしくお願いします。